

東海理化グループのグローバル環境活動

地域社会との共生をめざして、事業活動を行うあらゆる地域で環境保全活動を展開しています。

マネジメント

国内グループ会社環境連絡会

2009年度より国内グループ会社6社と環境連絡会を発足し、活動をしています。

2010年度は、“定着化”をキーワードに環境活動を定着させるための体制・仕組みを整備し、活動をスタートさせました。1年間の活動の結果、各拠点の責任者のもと、計画的に環境活動を行える体制を整備することができました。

また、廃棄物低減活動にも取り組み、勉強会の開催、定期的な情報交換を行いました。分別方法を変えることで、従来廃棄物として排出していたものを資源として売却できるようになりました。

今後も環境改善にも収益改善にもなる活動をグループ会社と連携し進めていきます。



▲現地での勉強会



▲環境連絡会

マネジメント

グローバル環境監査

海外事業体の環境活動の強み・弱みを現地現物で把握するため、定期監査を実施しています。

2010年度は、アジア地区を中心に7拠点の監査を行いました。現地スタッフと共に現地現物で環境に与えるリスクの評価を行い、環境事故を未然に防止する工場づくりを進めています。

診断結果は全事業体で共有し、良い点悪い点を相互に学び合えるようにしています。また、診断後には現地教育会を開催し、現地スタッフのスキルアップや診断員との交流を図っています。

2011年度は北米地区を中心に監査を行う予定です。



▲現地診断後の教育会 (TRCT)



▲現地現物でのリスク評価 (TRCT)

